

競技注意事項

本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

1. 練習について

- (1) 練習は、プログラム記載の指定された会場で、日程に従い実施すること。
- (2) メイン会場内での練習は競技役員の指示で、その他の会場については、練習会場系の指示に従うこと。

2. 招集について

- (1) 招集所は、100mスタート側器具庫内に設ける。
- (2) 招集開始（点呼開始）および招集完了時刻（移動開始）は下記のとおりである。

	招集開始時刻（点呼開始）	招集完了時刻（移動開始）
トラック	競技開始25分前	競技開始15分前
跳躍	競技開始40分前	競技開始30分前
棒高跳	競技開始60分前	競技開始50分前
投てき	競技開始40分前	競技開始30分前

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権として処理する。
- (4) 競技者は招集開始時刻に招集所で待機し、スパイク、シューズの検査およびアスリートビブスの確認を受けた後、競技者係の誘導で競技場に入場すること。（跳躍選手のアスリートビブスは胸部または背部のどちらか一方でよい）2種目以上（例えばトラック競技とフィールド競技）を同時刻に兼ねて出場する競技者、棄権については、必ず所定の届け出用紙を提出すること。

3. 競技場への入退場

- (1) 入退場は競技者係の指示に従って整然と行う。（P.9を参照）
- (2) 当該種目出場の競技者以外競技場内に入ることができない。

4. 競技・競技用具について

- (1) 短距離種目では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。投てき競技においては、審判員の指示以外に勝手に練習しないこと。
- (2) トラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイムが出た場合は、下記の方法で決定する。
①100m・200m・400m・800m・100mH・400mH・4×100mR・4×400mRの同タイム者（チーム）については、判定写真を拡大し細部（電気計時 1/1000）まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。
- (3) スパイクシューズのピンは、全天候舗装のトラックであるので9mm以下とする。ただし、走高跳とやり投は12mm以下とする。靴底の厚さは、800m未満のトラック種目：最大20mm、800m以上のトラック種目：最大25mmとする。ただし、日本陸連の通達により2023年3月までの適用除外措置として、フィールド競技用シューズの靴底厚確認のための計測は不要とする。
- (4) リレーのマークは主催者で用意する。
- (5) トラック競技に出場する競技者は、腰ビブスを使用する（右腰臀部）。ただし4×100mRの第1、第2、第3走者と4×400mRの第1走者は腰ビブスを使用しない。また、4×400mRにおいては、第2、第3走者は左腰に腰ビブスを使用する。
- (6) トラック競技における走路順およびフィールド競技の試技順は、プログラム記載順による。ただし、決勝の組み合わせおよびレーン順は主催者側で決定する。
- (7) 跳躍競技のバーの上げ方は、次のとおりとする（天候などにより変更することがある）。

種目		練習	1	2	3	4	5	以後1人になるまで
走高跳	男子	1m75 1m90	1m80	1m85	1m88	1m91	1m94	3cmずつ
	女子	1m40 1m55	1m45	1m50	1m53	1m56	1m59	3cmずつ

